

Personal Energy

Corporate Profile

慧通信技術工業株式会社

Kei Communication Technology Inc.

1. 会社紹介

Corporate Data (As of Oct 1,2020)

Company Name

Kei Communication Technology Inc.

Date Established

Nov 15,2000

Capital

JPY95,000,000

Head Office

8-2 Shinkocho Chuo-ku Kobe-shi
Hyogo 650-0041 Japan

Off-Grid Institute

5-2-8 Higashikawasaki Chuo-ku Kobe-shi
Hyogo 650-0044 Japan

Factory

C104,C109,C110 2-25 Wadayamadori Hyogo-
ku Kobe-shi
Hyogo 652-0884 Japan

Parent company:3



Kei Communication Technology Inc.

慧通信技術工業株式会社は、2000年11月に設立されました。

組込み通信機器から、再生可能エネルギーを主電源とするオフグリッドデータセンターの設計・構築まで、幅広い独自製品を開発しています。

電子基板の設計からカスタマイズ、組み込みソフトウェアの開発・移植、システム構築まで、開発のすべてを垂直統合により提供しています。

信頼性・評価の高い自社製リアルタイムOS技術を活用したプロトコル変換モジュールは、接続された機器の状態を常に収集し、要求されたアプリケーションに即座に対応します。

日本で初めてのオフグリッド電源システム、パーソナルエナジーは、発売から10年が経過し、現在も最も信頼性の高いオフグリッド電源システムとして交通インフラや防災無線局、医療、教育などの分野で多く採用されています。

Corporate Philosophy

made in KOBE

made in KOBE

All the products we developed are stamped as "made in KOBE". The origin of development in Kobe and manufacturing in Kobe starts with experiencing our city that was instantly destroyed. It is the Great Hanshin-Awaji Earthquake hit on January 17, 1995. Telephones were cut off from modern society, with the Internet and mobile phones not yet popular at the time, all of electricity, gas, water supply, transportation and roads cut off. Whatever the circumstances, if there is life, you can try again. "Made in KOBE" is a proof that we live, a proof of life.

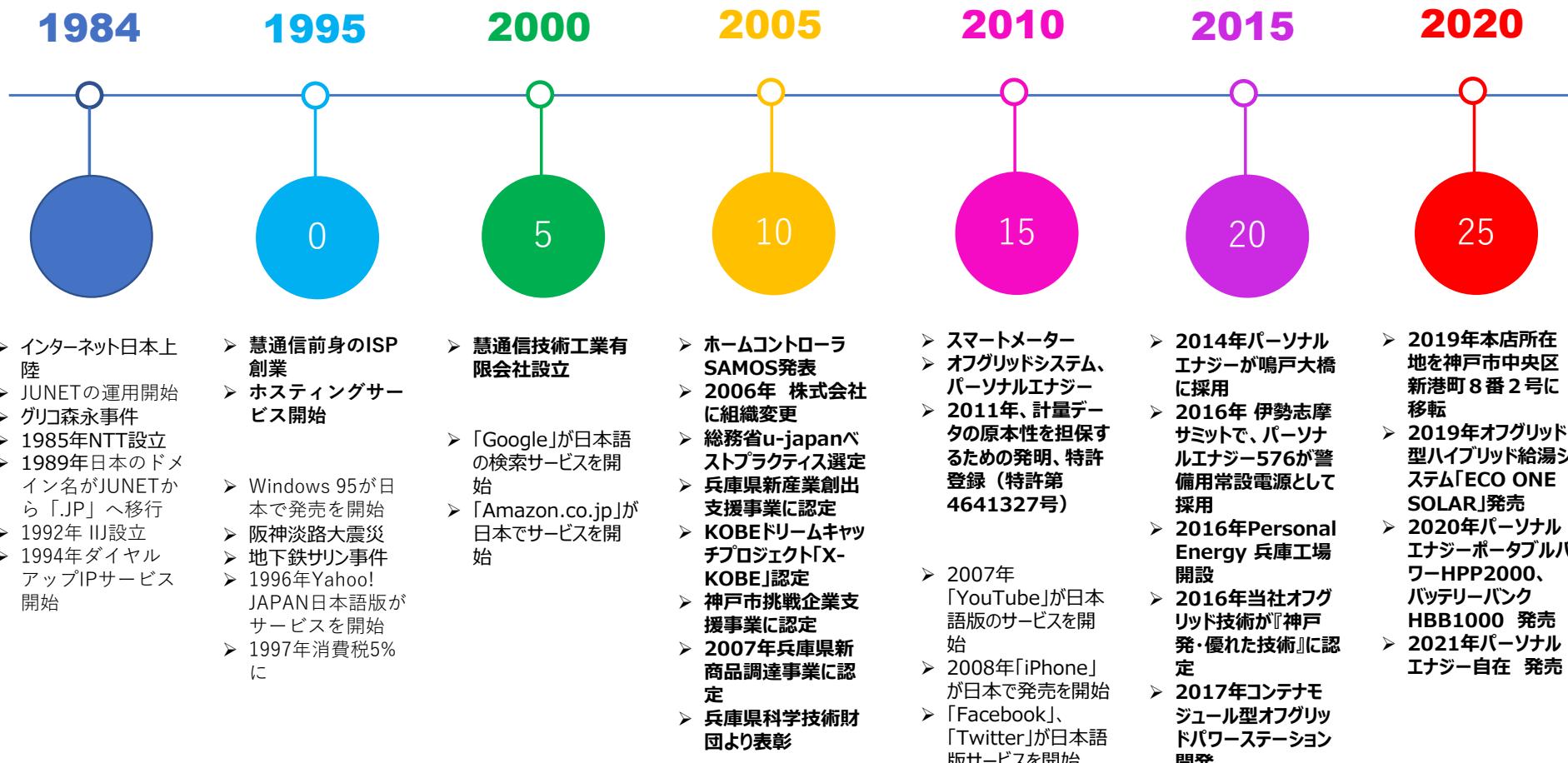
All energy consumers become energy producers.
This is our management philosophy.
We aim for the establishment of technology which is not defeated by disasters, not affected by energy accidents and politics, never causing war again.



Kei Communication Technology Inc.

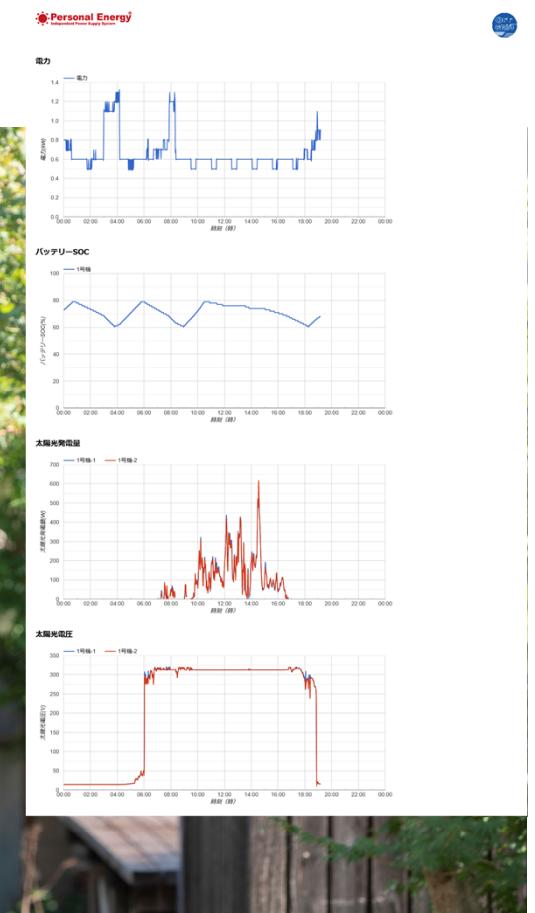
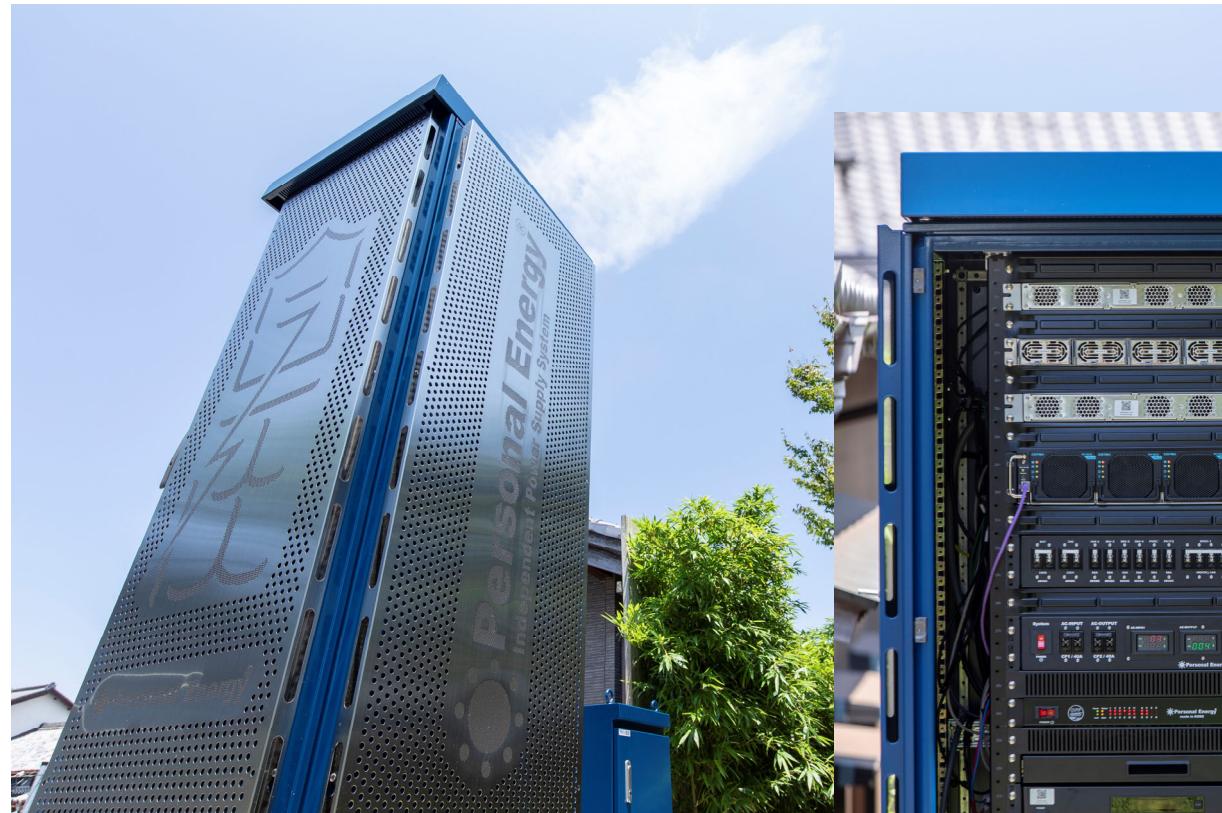
SOUL BEAT WORLD 2015
May 23-25,2015
Personal Energy Off Grid SYstem

2. 慧通信技術工業 沿革



3.主要製品および保有技術紹介 ①

オフグリッド水冷式HVDCシステム Personal Energy 自在 (2021年)



Kei Communication Technology Inc.

3. 主要製品および保有技術紹介 ② オフグリッドビルシステム (2020年)



Kei Communication Technology Inc.

3.主要製品および保有技術紹介 ③ 防災無線局向けオフグリッド電源システム（2020年）



2020年6月納入熊本県球磨郡五木村
デジタル防災行政無線
基地局オフグリッド電源

令和2年7月豪雨による3週間の長期間停電の中、無停止で無線運用
Kei Communication Technology Inc.



3.主要製品および保有技術紹介 ④ 全負荷対応災害バルク発電システム（2020年）



2020年2月納入 尼崎市 社会福祉法人 真澄会 災害バルク設備
大規模停電時でも建物全負荷設備に電源を供給可能なマイクログリッドLPガス発電システム



3.主要製品および保有技術紹介 ⑤
パーソナルエナジー・ポータブルパワー (2020年)



PORTABLE POWER BATTERY BANK

HPP-2000 / HBB-1000

大容量可搬型蓄電池システム



Kei Commercial Technology Inc.



3.主要製品および保有技術紹介 ⑥ エコワンソーラー（2019年）



3.主要製品および保有技術紹介 ⑦ コンテナモジュール型HVDCデータセンター（2016年ZEB認定設備）



3.主要製品および保有技術紹介 ⑧ オフグリッドマリンシステム 日光観光遊覧船 男体



Kei Communication Technology Inc.

3.主要製品および保有技術紹介 ⑨

電力完全自給型住宅オフグリッドハウス（2016年姫路市）



4. 次世代スマートメーターの開発 ①

IEEE802.co.jp

Etehernet.jp
すべてのエネルギー消費者が、神戸市エネルギー生産者になる

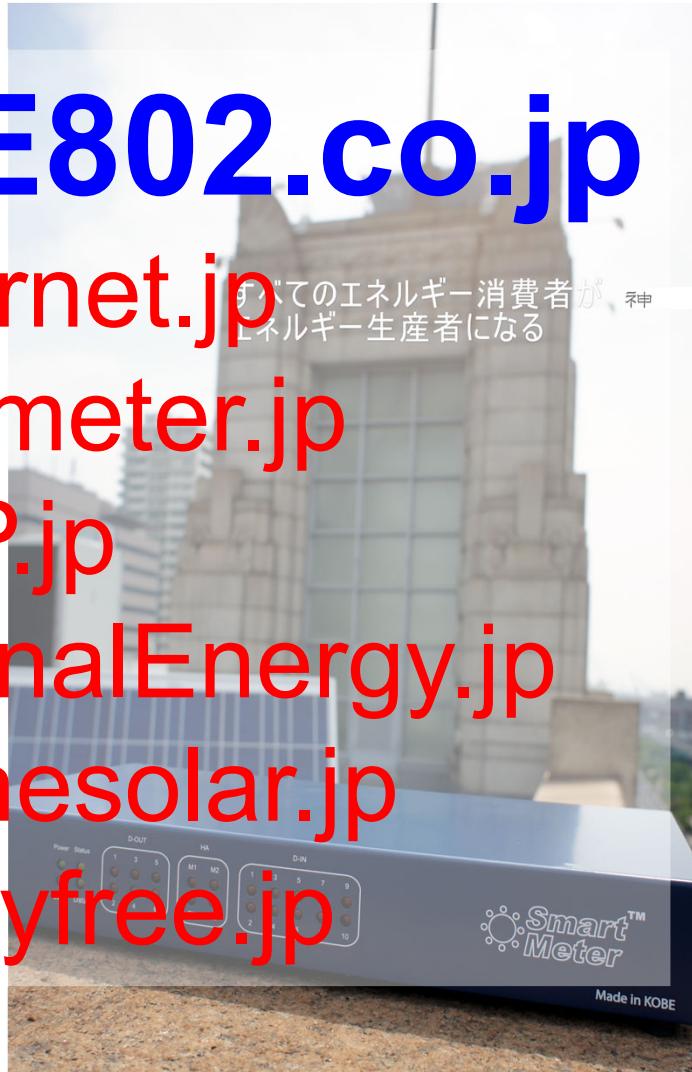
smartmeter.jp

SNMP.jp

PersonalEnergy.jp

Ecoonesolar.jp

Energyfree.jp



Kei Communication Technology Inc.

日刊工業新聞
Business & Technology

2010年(平成22年)
3 | 31
第20848号 水曜日

遠隔検針の仕様開発

慧通信技術 データ改ざん判別

【神戸】慧通信技術工に応する仕様。この仕様を用いた計測装置を、

業(神戸市中央区、粟田隆英社長、078-835-0883)は30代電力網であるグリッドの標準化項目のひとつ、遠隔検針の仕様を発表した。

と発表した。過去の遠隔管理データの遠隔管理データを用いて、懸念されるデータを確認して、それを用いた電子署名を印として取り付ける。データを取り消されるとその印が取り消されるので、



発行所 神戸新聞社
郵便番号 650-8571
神戸市中央区東川崎町
1-5-7

http://www.kobe-np.co.jp/

電話 (078) 362-7056

社会部 7040 総務部 7047

経済部 7094 政治局 7066

運動部 7095 営業局 7081

文化部 7044 地域活動局 7080

生活部 7045

ご意見ご質問は読者センター。

078・362・7056

(月~土 10:00~17:30)

2010年(平成22年)6月12日 いじ
新規 通じ
慧通信技術 データ改ざん判別
次世代送電網検針データ
改ざん抑止技術開発

システム開発・販売の月に定めた規格への採用活用化しており、経済産業省が、京都と大阪、奈良にまたがる「けいはんな学研都市」など各地で実証実験に乗り出します。インターネットなどのデータに結び付ける。改ざん自体は防げないが、

慧通信の新技術は電子署名技術を応用し、暗号化した時刻データを検針データに結び付ける。改ざんされたことで、「改ざんされた」としてい

(内田尚典)

4. 次世代スマートメーターの開発 ②

2011/6/14 日刊工業新聞

日刊工業新聞 Business & Technology



システムを開いた状態で、内部構造が見える。

慧通信のシステムは太陽発電によるピークシフトと蓄電モジュールへの充電を同時に実現。また

【神戸】慧通信技術工業（神戸市中央区、栗田隆央社長、078・335・0882）は太陽光発電システムを主電源とし、補助電源に電力会社の系統電源を使う独立電源シ

慧通信 独立電源システム開発

システムを開発、7月6日

に発売する。オリビン型

リノ酸鉄リチウムイオン

蓄電池と直流・交流イン

バーターなど内蔵の独自

スマートメーター（写真）

を使い実現した。価格は

電力量4キロワット

システムで太陽

光発電装置込み

500万円、同

1キロワットシステム

で150万

円。

4キロワットシステム

を開いた状態で、内部構造が見える。

慧通信のシステムは太

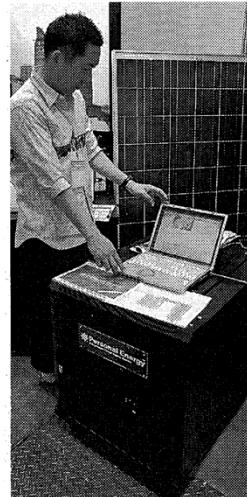
陽発電によるピークシ

フトと蓄電モジュールへ

の充電を同時に実現。ま

太陽光発電を主電源に

（第3種郵便物認可）



慧通信技術工業が開発した電源システム「パーソナルエナジー」＝東京都江東区、東京ピックサイト

一般的な太陽光発電システムは、電力会社の送電系統どつなかつてお

り、余った電気を電力会社に売る一方、夜間や雨天時など逆に買つて電力を貰う。ただ、停電時に復旧作業員の安全

には、自家発電した電気も原則、

一方、新システムは、自家発電で余った電気は放電し必要な電力量を貰う。自家発電の電気を使

い。一方、新システムは、電力会社の送電系統と切り離され、電池に蓄え、不足すれば

使うとなる。

2011/6/17 神戸新聞 朝刊

日刊工業新聞 Business & Technology

独立電源システム開発

太陽光パネル + 蓄電池

慧通信技術工業

システム開発の慧通信技術工業（神戸市中央区）は、太陽光パネルと蓄電池を組み合わせた独立電源システム「パーソナルエナジー」を開発した。自家発電で余った電気を電池に蓄えて自分で使うのが特長。電力不足の懸念が強まる中、安定的に電気を確保できる利点があるという。（松井 元）

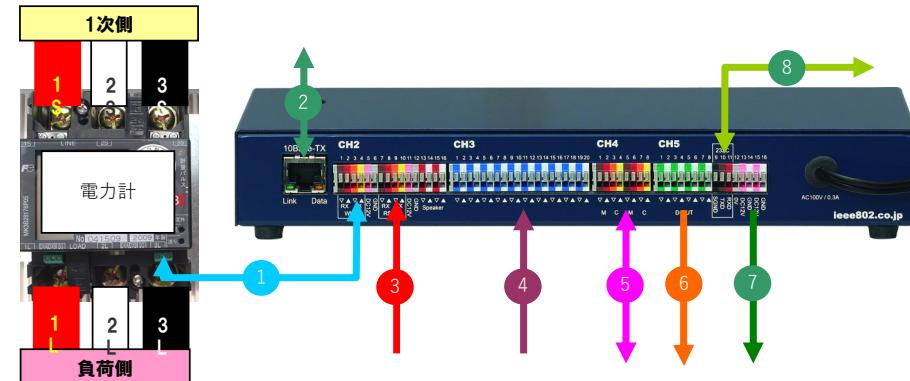
新システムは、蓄電池（容量4.8kWh）と太陽光パネル（出力約4kW）などで構成。360万円（太陽光パネル込み）で500万円。同社は「100平方㍍で従業員15人程度のオフィスの場合、日照時間が長い夏は自家発電で購入した電気を自動的に停止。ただ、自家発電で電気が足りなければ、電力会社の送電に切り替えられる。7月6日発売。同社

82
8078・3355・08

Communication Technology Inc.



4. 次世代スマートメーターの開発 ③ 初号機2008年



- ① 全2重、半2重RS485ポート
富士電機システムズ社、エネゲート社製電力計プロトコル実装済
- ② 10BASE-TX
- ③ カスタム対応、全2重、半2重RS485ポート
お客様の通信機器プロトコルに対応可能
- ④ 無電圧接点入力10ポート、NC/NO各5ポート
- ⑤ JEMA-HA、2ポート。電気錠の施開錠、エアコンなどのON/OFFが可能
- ⑥ 充放電制御4ポート Charge, Discharge, Overvoltage, NO
- ⑦ DC12V出力 2ポート
- ⑧ 全2重、半2重RS232C 1ポート

スマートメーターSME2010-DCは慧通信独自のリアルタイムOS、IPスタックによって様々な機器と連係し、遠隔制御や遠隔監視を実現します。
通信プロトコルは汎用性の高いSNMPv2cを実装。
専用MIBファイルを読み込むことで様々な用途に適応します。
MRGTやTWSNMPなど業界標準SNMPマネージャー動作確認済み。

お問合せ先

Kei Communication Technology Inc.
8-2 Shinkoucho Chuo-ku Kobe-shi Hyogo 650-0041 Japan
Phone +81-78-335-0882 Fax +81-78-391-1010
sales@ieee802.co.jp

製品サービスご購入に関して
【本社営業部】
〒650-0041
神戸市中央区新港町8番2号 新港貿易会館4階
Phone 078-335-0882 Fax 078-391-1010

購買、ご請求に関して
【本社管理部】
〒652-0884
神戸市兵庫区和田山通1丁目2-25
神戸市ものづくり工場 C棟104

【開発部】
神戸市ものづくり工場 D棟402

【製造部】
神戸市ものづくり工場 C棟109, C棟110

【オフグリッドラボ】
〒650-0044
神戸市中央区東川崎町5丁目2番8

慧通信技術工業株式会社
<https://www.ieee802.co.jp/>

